

Contents

Contents	2
論文作成 ABC：うまいケースレポート作成のコツ―著者の言葉に替えて	9
ケースレポート論文の悪い見本	9
簡便な指南書を！	9
著者紹介	10
ケースレポートこそ医学論文の原点	11
本書は忙しい臨床医がターゲット	11
本書の読み方注意点	12
1. ケースレポート事始め	14
ケースレポート見本	14
論文解説	18
論文を書く一番簡単な手	22
まとめ	22
まとめ（表現を変えると）	23
2. ケースレポートが医学を切り拓く	24
臨床医がまず書くのはケースレポート	24
私がケースレポートを重視する理由	24
ケースレポート作成には現世のご利益がある	28
まとめ	31
エッセイ 私と論文、今昔	32
3. 稀ならば論文化できるか	34
稀ならば論文化できるのか？	34
稀なだけでは論文にはならない	35
10 例目, 20 例目ならばどうする？	36
PubMed の誤った解釈	36

検索語を極端に絞って「世界初」と書くことの無意味さ	37
一番つらいのは、書きたいのに書く機会に恵まれないこと	38
まとめ	38
エッセイ 多忙を愚痴らぬ	40
4. 論文化できる症例とは？	42
Journal 規定にみる「論文化できる症例」	42
論文化できる症例の具体例	44
第1報とは「落とし穴注意報」第1報	49
なかなか書けない「真に画期的なケースレポート」	50
最終的に残るのは「臨床的有用性」	51
まとめ	52
エッセイ Research mind は後天的	53
5. ケースレポートの structure	55
新規性は内容に求める。structure には新規性を求めない	55
「論文 structure の原則」はケースレポートにも通じる	56
ケースレポートの structure：見本	56
ケースレポート structure 簡略版（2点新規発見の場合）	60
真の発見事項は「一つ」しかないが、「二つ」わかった法を流用して書く方法	61
ケースレポート structure 簡単最終型は？	63
論文一般（原著論文）の structure との相違	63
「二つわかった法」の効用	65
正しい structure のケースレポート見本	65
structure 解説	69
同じ意味（言葉）がでてくる場所一覧	72
まとめ 1	76
まとめ 2	77

6. タイトル再考	78
よいタイトルとは？	78
今回のタイトルは	78
論文タイトルの原則	79
本症例のタイトル考察	85
色々なタイトル：失敗例と成功例	86
英語ならば？ よいタイトルがもっとたくさん作れる	89
英語でも sentence title や question title は変だ	91
別の英語タイトル：奥の手	91
正攻法タイトルをあえて採用しない場合	92
「症例報告」と入れるべきかどうか？	94
よいタイトルを楽しみながら考える	95
まとめ	96
7. Introduction はミニ 3 段論法	97
Introduction は 3 段論法プラス α (原著の場合)	98
ケースレポート Introduction はミニ 3 段論法。アプローチは不要。 Answer は書かれてしまう	99
ケースレポート Introduction が原著のそれと異なる点	101
Introduction で述べるべきその他の事項	104
Introduction の開始部分 (頭) を広げすぎない	106
投稿雑誌に応じて known の間口は変化させる	107
四つの雑誌へ投稿した場合の頭文の比較	109
問題：Introduction の頭文を考えてみよ	110
まとめ	111
エッセイ 私の家庭教師	112
8. Case 部分の書き方	114
再現性 (reproducibility) はケース部分には要求されない。 論文の意味づけにおいては要求されるが	114

よくみえますい例	115
余計なことを Case 部分に書かない	116
なぜ“余計”か？	117
稀にみる間違った査読者意見	120
ケースレポートにおける Case 部分の書き方のコツ	121
よい書き方の模範	122
よいものは常に短い 悪いものは常に長い	122
症例「発表」にもあてはまること	123
学会で質問するならば	124
まとめ	125
9. Discussion の書き方ー 一番簡単な「二つわかった法」	126
原著 Discussion の書き方のおさらい	126
ケースレポートでも基本は同じ	126
ケースレポートと原著とで異なる部分	128
悪い見本	130
どこが悪いか？ 一般的見地から	132
悪いのはどこか？	132
Discussion の模範	136
Discussion	136
症例報告の発表について一言	138
参考：英文での決め文句	141
参考：簡略版は 3 段から構成させてもかまわない	142
まとめ	144
10. Abstract と References の書き方	147
Abstract の書き方	147
References の書き方	154
まとめ	159

11. FAQ：どの雑誌へ投稿するか？	161
Q 英語論文（ケースレポート）を作成したいと思いますが、どの雑誌へ投稿したらいいのかわかりません	161
Q ターゲット雑誌を決めて書き出しました。執筆途中段階において、引用や文献欄を投稿規定通りにきちんと書いておいたほうがいいのでしょうか？	162
Q 投稿サイトまで進んだら、「文献引用はバンクーバー方式にしてある」にチェックを入れる欄があります。バンクーバー方式とは何ですか？	165
Q ケースレポートをたくさん掲載している雑誌ならばどの雑誌へ投稿してもいいのですか？	167
Q 「半年待って一発 reject」のような、author friendly でない雑誌はどうしたら見分けられますか？	167
Q 投稿すべき雑誌は教授、准教授、部長にうかがえばいいのですか？	167
Q active writer に投稿雑誌を教えてください。でも active writer はどうすればわかりますか？	169
Q PubMed で current active writer かを判断すればいいのですか？	170
Q 病棟オーベン（直接指導者）で臨床を全部教えてください。先生に投稿雑誌を教えてください。いいように思うのですが、それではだめですか？	172
Q 身近に current active writer と思える先生がいません。どうしたらいいのでしょうか？	172
Q 専門外の症例なのにケースレポート論文を書くことができる、と聞きましたが本当ですか？	173
Q 1 回目はだめでもともと、当該分野の一番良い journal へまず投稿してみなさい、といわれましたが本当ですか？	175
Q 雑誌によって「好きなテーマ」「受けてくれそうなテーマ」があると聞きました。本当ですか？	176
Q やはり、IF ができるだけ高い雑誌を狙ったほうがいいのでしょうか？	177
Q ある程度雑誌を決めて投稿するほうが良いと聞きました。前回受けてくれた雑誌に今回も投稿していいのでしょうか？	178
まとめ	179
エッセイ 論文は憧れ	181

12. FAQ: Reject されたら, revision 要求されたら, 査読依頼されたら? 183

- Q reject されてしまいました。
IF の低い雑誌へ横滑りさせていいのでしょうか? 183
- Q reject 通知が来たその日のうちに別 journal へ投稿する人がいると
聞きましたが? 184
- Q revision 要請がきました。
査読所見を全部盛り込まねばならないのですか? 185
- Q 査読者が見当はずれの要望を出してきた場合にも
全部従うべきでしょうか? 186
- Q revision 要請への cover letter と response の見本を教えてください。 188
- Q これまでに自分の論文を複数回掲載してくれている雑誌から
査読依頼がきました。内容的には査読はできそうです。
査読を受けたほうがいいのでしょうか? 193
- Q 査読中ですが, よくわからない部分があります。どうしたらいいですか? 194
- まとめ 195

13. わかりやすい文脈構成 結論を先に! 197

- 原則 1 結論: 重要点を先に 197
- 原則 2 「頭でっかち尻すぼみ」原則 199
- 原則 3 「文体を変化させない」の原則 200
- 原則 4 「トピック文の文末は微細変化させるべきかどうか考えてみる」の原則 202
- 原則 5 「段落内にも第 1 第 2 第 3 がある場合には二つのテクニックを使う」
原則 204
- 原則 6 「内容が複雑な場合には段落枕言葉を工夫する」の原則 212
- まとめ 216

エッセイ Conclusion first の功罪 218

14. わかりやすい論文日本語 220

- 14 のコツ 221
- 添削してみよう 222
- 意識してもっとわかりやすくしてみよう 229

添削者泣かせなのは	231
まとめ	231
15. 14のコツを使った論文日本語の修正法 演習に替えて	233
うまい論文日本語 14のコツ (復習)	233
演習問題 直してみよう	233
強調表現は全部落とす	239
弱過ぎる表現を使わない。謙譲もほどほどに	240
現在完了 (進行形) は使わない	240
使わないほうがいい言葉	241
接続詞はできるだけ落とす	242
「の」連続回避の原則 (松原命名)	243
文章は淡々と。文章自体に大発見だ! と叫ばせない	244
二つを並べる場合、三つを並べる場合の常套句	245
血液内科で検査した、などと「担当科」を書かない	247
全文直しにトライ!	250
まとめ	256
エッセイ 「論文の神様」植村研一と「小説の神様」志賀直哉	258
16. 査読者・編集者はどこをみるか?—うまいケースレポート作成の コツのコツ	260
査読者・編集者はどこをみるか?	260
総まとめ	267
おわりに	281
索引	283
